

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 0732316

江戸川区立小岩第二中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	算数	合計	年度	国語	数学	英語	国語	算数	GTEC
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	-2	-4	-3	令和8年度の目標	+1	+3	+5	0	+3	
令和7年度の結果	-5	-10	-7.5	令和7年度の結果	-0.2	+1.2	+5.3	-3.1	+2.0	
令和6年度の結果	-5	-4	-4.5	令和6年度の結果	-1.0	+4.4	+0.1	-1.0	-2.0	
令和5年度の結果	-3	-5	-4	令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】江戸川区の学力調査では中1、中2ともに英語と数学が全国の平均を上回っている。特に英語の正答率が高くなっている。</p> <p>【課題】江戸川区の学力調査では中1、2ともに国語の正答率が全国の平均を下回っている。全国学力・学習状況調査では国語、数学において都の平均正答率を大きく下回る。</p>	<p>全国学力・学習状況調査では平均正答率が東京都の平均に近づく。江戸川区学力調査では全ての教科の平均正答率において東京都の平均を上回る。</p>	<p>(1)基礎学力の向上……普段の授業から国語の漢字、数学の計算問題などを行い、基礎的な学力の底上げを図る。また、小テストを繰り返し実施し、学力の定着を図る。</p> <p>(2)学習習慣の定着……ドリル/ワークなどを活用し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>(3)放課後補習教室の呼びかけ……低学力層の底上げを図る。</p>
第1学年	<p>【成果】英語はスペルを書く問題の正答率が高い。国語は聞き取り問題、漢字の読み書きの正答率が高い。数学は計算問題の正答率が高い。</p> <p>【課題】数学は比例反比例の正答率が低い。国語は文章を書く問題の正答率が低い。</p>	<p>国語は区の学力調査において、平均正答率が全国の平均を上回る。英語、数学は引き続き全国の平均を上回る。</p>	<p>国語は普段の授業から作文を書くことで、書くことの抵抗感を無くし、文章の質を高める。数学は習熟度別授業によって学力に応じたきめ細かいフォローを行う。また、単元テストを細かく実施し、単元ごとの理解を深める。</p>
第2学年	<p>【成果】英語は聞き取り問題、質問に英語で答えるなどの書き取り問題の正答率が高い。また、数学は一次関数の正答率が高い。</p> <p>【課題】国語は漢字の読み書き、歴史的仮名遣いなどの文法問題への正答率が低い。数学は空間図形、平面図形の正答率が低い。</p>	<p>国語は区の学力調査において、平均正答率が全国の平均を上回る。数学は引き続き全国の平均を上回る。</p>	<p>漢字練習への意欲を高め、初見の漢字の問題でも解けるようにする。文法事項を習ったら、確認テストを実施し、知識の定着を図る。数学は習熟度別授業によって学力に応じたきめ細かいフォローを行う。また、単元テストを細かく実施し、単元ごとの理解を深める。</p>
第3学年	<p>【課題】国語は文章を書く問題の平均正答率が低く、無回答率が高い。数学は図形に関する問題(特に証明問題)の平均正答率が低い。</p>	<p>国語、数学ともに本校の平均正答率を都の平均正答率に近づける。</p>	<p>国語は普段の授業から作文を書くことで、書くことの抵抗感を無くし、文章の質を高める。数学は習熟度別授業によって学力に応じたきめ細かいフォローを行う。また、単元テストを細かく実施し、単元ごとの理解を深める。</p>